

# 南越前町学校施設長寿命化計画

## 概要版

(令和3年3月)

### 1 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

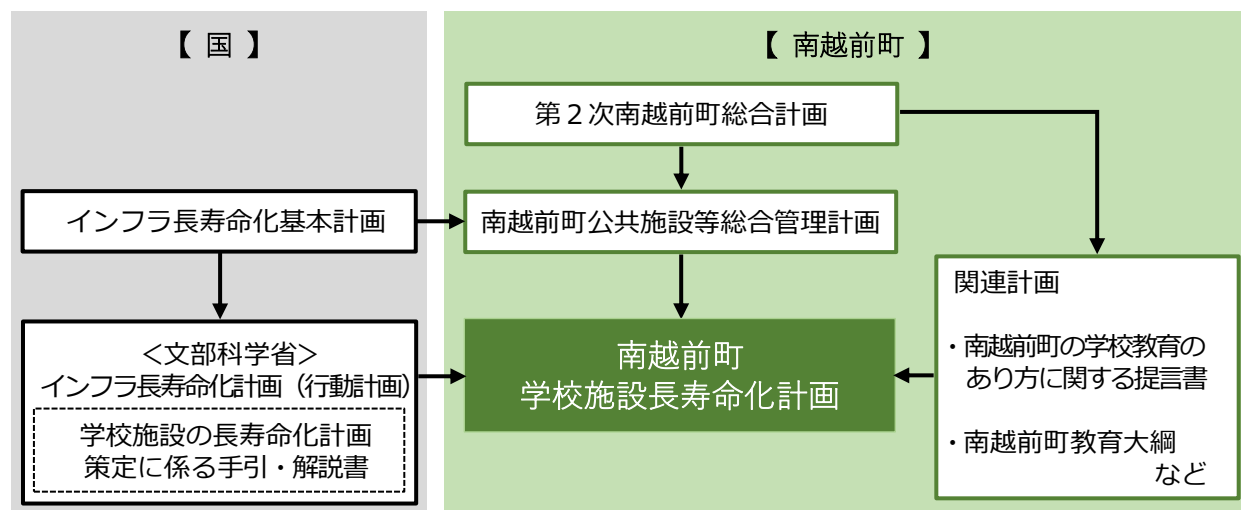
#### ◇ 計画の背景と目的

本町が保有する学校施設の多くは、昭和50年代から昭和60年代にかけて建設されたもので、全体の約5割以上が建築後40年を経過するなど老朽化が進んでおり、学校施設の維持管理及び更新が今後の財政に与える影響は、非常に大きいと考えられます。

一方、学校施設に対するニーズは多様化しており、多様な学習内容や形態への対応、学習空間の快適化、防災対策、環境負荷の低減など、様々な配慮が求められています。

このような状況を踏まえ、従来の事後保全型から予防保全型への転換による学校施設の長寿命化に取り組み、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減と改修に係る予算の平準化を図ることを南越前町学校施設長寿命化計画の目的とします。

#### ◇ 計画の位置づけ



#### ◇ 計画期間

- ・計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和43年度（2061年度）までの40年間とします。
- ・概ね5年毎に見直しを行うことを基本に、児童生徒数の変化、社会経済情勢、国の補助制度の動向等により早急な対応が必要な場合は、随時見直すものとします。

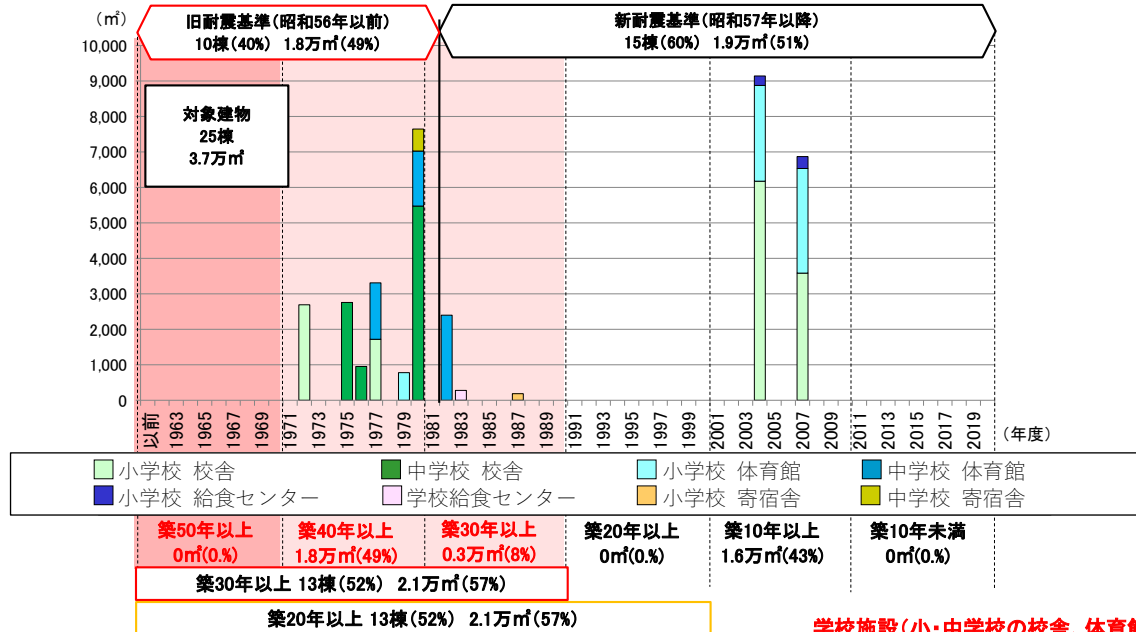
#### ◇ 対象施設

小学校	4校	南条小学校、湯尾小学校、今庄小学校、河野小学校
中学校	3校	南条中学校、今庄中学校、河野中学校
学校給食センター	1箇所	河野給食センター

## 2 学校施設の実態

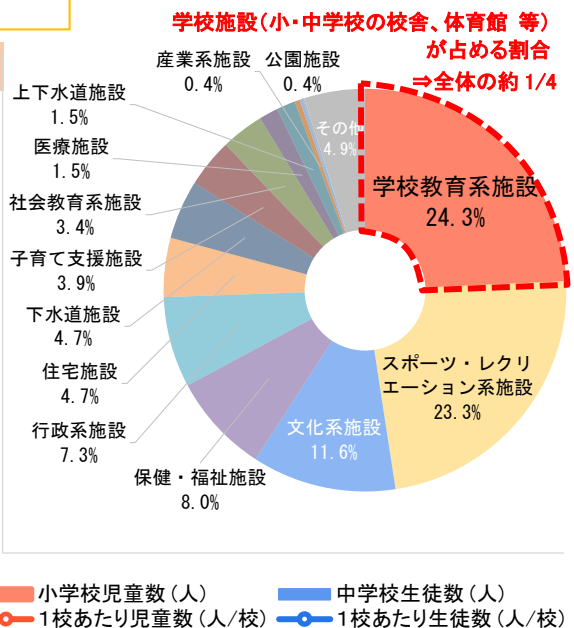
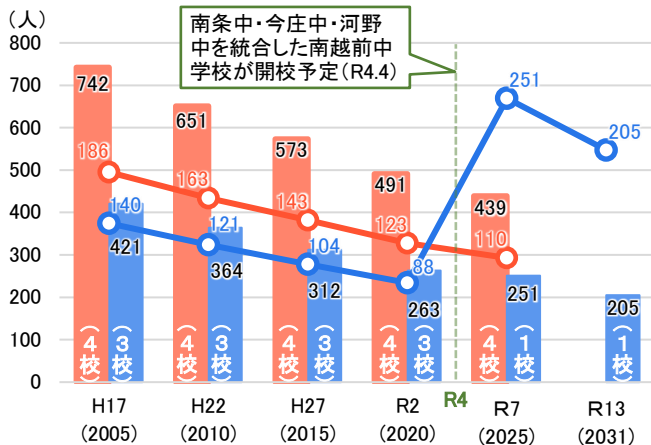
### ◇学校施設の保有量

- 学校施設は、南越前町の公共施設全体の約 24.3%（面積比）を占めています。
- 学校施設の保有量は、対象施設 25 棟、延床面積約 3.7 万㎡であり、築 30 年以上の建物が 13 棟（全体の 52%）、延床面積約 2.1 万㎡（全体の 57%）と老朽化が進んでいる状況です。



### ◇児童生徒数の将来推計

- 児童数生徒数は、長年、減少傾向にあり、今後もその傾向が続くと推計されています。



### ◇学校施設の老朽化状況

- 学校施設の老朽化状況を、資料調査や現地での調査・点検等により確認し、評価を行いました。
- 各施設の老朽化状況と築年数を総合的に評価し、改修等の優先度を次のように判定しました。

優先度 (改修時期)	小学校	中学校	給食 C	合計
優先度 1 (概ね R3~6 年度に改修)	—	6 棟	—	6 棟
優先度 2 (概ね R7~9 年度に改修)	3 棟	2 棟	1 棟	6 棟
優先度 3 (概ね R10~12 年度に改修)	6 棟	—	—	6 棟
優先度 4 (概ね R13~15 年度に改修)	7 棟	—	—	7 棟

### 3 学校施設の目指すべき姿

#### ◇学校施設の目指すべき姿

- ・南越前町総合計画や南越前町公共施設等総合管理計画等の内容を踏まえつつ、南越前町教育大綱に掲げられた重点施策等を基本に、学校施設の目指すべき姿を次のように整理します。
  - 安全性の高い学校施設（地震や洪水等の災害に強い、防災機能の充実等）
  - 快適性の高い学校施設（学習能率の向上やバリアフリーに配慮した環境整備等）
  - 学習環境への適応性が高い学校施設（学習効果を高めるためのICT環境の充実等）
  - 環境への適応性が高い学校施設（環境を考慮した学校施設（太陽光発電システムの設置等））
  - 地域の拠点となる学校施設（地域に開かれた学校とするための環境整備等）

### 4 学校施設整備の基本的な方針等

#### ◇学校施設の規模・配置計画等の方針

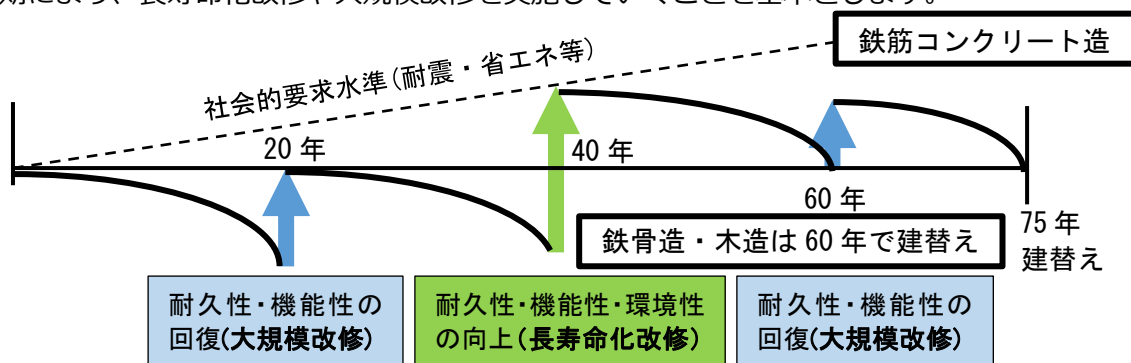
- ・現在の小中学校は、南越前町公共施設等総合管理計画の考え方を踏まえ、**定期的な点検調査による予防保全型の維持管理や計画的な長寿命化改修等の実施**により、施設の安全性確保と財政負担の標準化・抑制を図ります。
- ・特に**中学校**については、「南越前町の学校教育のあり方に関する提言書」において、**「原則、学校の統廃合を検討する」**と位置づけられたことから、学校再編に係る地区別懇談会等を経て、**令和4年4月に3つの中学校を1つに統合（南越前中学校）**することを決定しました。
- ・一方、**小学校**は、**現時点ではすべて存続**としますが、**複式学級が続くと見込まれる小学校や小規模校については、地域の合意等を得たうえで、統廃合を検討**していくものとします。

#### ◇改修等の基本的な方針

- ・長寿命化改修の推進による目標耐用年数は、日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」を基に、構造別に次のように設定します。

【鉄筋コンクリート造】 75年      【鉄骨造】 60年      【木造】 60年

- ・長寿命化改修が適切と判断される建物については、目標耐用年数の実現に向けて、下図に示す改修周期により、長寿命化改修や大規模改修を実施していくことを基本とします。



#### ◇長寿命化の整備水準

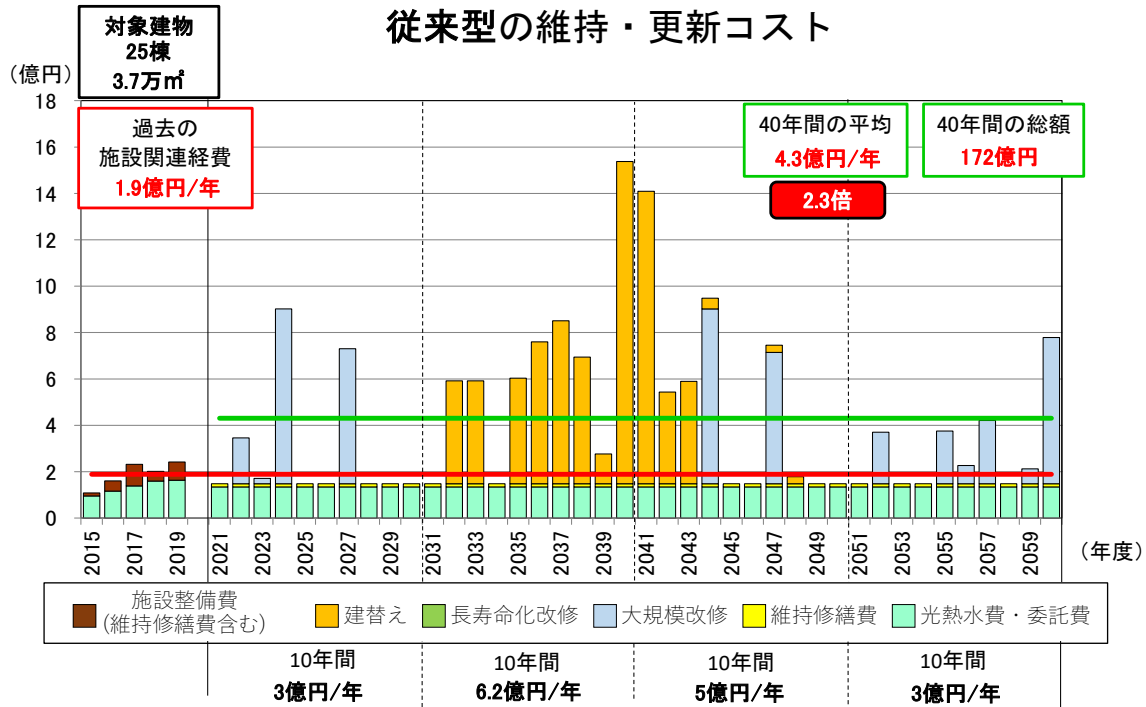
- ・長寿命化改修に関しては、次の3つの視点を踏まえ、実施していくものとします。

1. 耐久性の向上 …鉄筋の腐食対策・屋根・外壁仕上げのグレードアップ 等
2. 施設環境・質の向上 …屋根・外壁の高断熱化や心理的室内環境の向上(木質化) 等
3. 新たな機能・複合化 …ICT 機能や Web 遠隔授業の充実、オープンスペースの設置 等

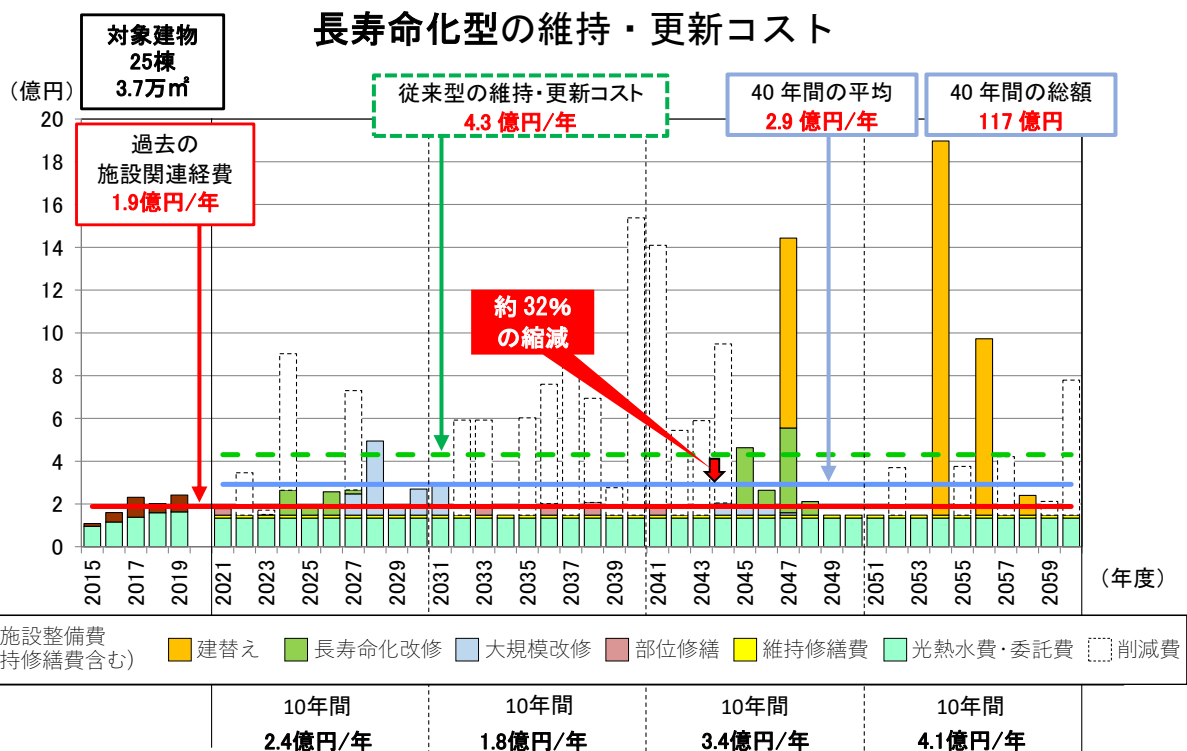
## 5 長寿命化の実施計画

### ◇今後の維持・更新コストの比較

- 今後 40 年間の従来型（建替え中心）の維持・更新コストは、これまでと同様に築 50 年程度で建替えを行う場合、**総額 172 億円（約 4.3 億円/年）**となり、**過去 5 年間の施設関連経費（1.9 億円/年）の 2.3 倍**となります。



- 建替え中心の従来型管理からの転換を図り、**計画的な長寿命化改修**による管理を行った場合、今後 40 年間のコストは、**総額 117 億円（約 2.9 億円/年）**となり、**従来型の維持・更新コストに対して、約 32%（総額 55 億円、1.4 億円/年）の縮減**となります。



### ◇直近5年間の施設別整備計画

- ・令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）の直近5年間で、優先度判定を「1」とした施設を基本に、改修等を実施します。
- ・南条中学校は、優先度が高く、統合後の中学校として活用していくことから、早期に改修等を行うものとしします。
- ・一方、今庄中学校（校舎、体育館、寄宿舍）や河野中学校（校舎）は、優先度が高いものの、令和4年度に、現在の南条中学校の施設を利用し、1つの中学校に統合する予定であることから、長寿命化改修は行わず、従来の耐用年数（60年）を踏まえた必要な時期に大規模改修を行うものとしします。

直近5年間の学校施設別・工種別整備計画

(千円)

学校施設	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
南条小学校			2,728 体育館		
今庄小学校	712 校舎等				
南条中学校	29,825 校舎等			116,168 校舎等	40,972 体育館
合計	30,537		2,728	116,168	40,972

■長寿命化改修 ■部位修繕

## 6 長寿命化計画の継続的運用方針

### ◇情報基盤の整備と活用

- ・施設の状態や過去の改修・交換履歴、事故・故障の発生状況等をデータベースとして蓄積します。
- ・データベースは、建築基準法に基づく12条点検等の法定点検の結果等、継続的な点検・調査の結果に基づいて、適切に更新していきます。

### ◇推進体制等の整備

- ・南越前町公共施設等総合管理計画の「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」に従い、今後、公共施設及びインフラ施設の総合的かつ計画的な管理を継続していきます。
- ・公共施設等総合管理計画の担当課を中心に、情報の一元管理、大規模修繕や建替えにあたっての優先順位の協議、個別の事業計画と全体方針との調整など、庁内の横断的なマネジメントによる維持・管理等を推進するための体制を構築します。

### ◇フォローアップ

- ・本計画は、計画期間40年の長期的な計画であり、その間における学校教育や地域を取り巻く様々な環境の変化に対応した実効性のある計画とするため、概ね5年を目途にPDCAサイクルによる定期的な見直しを行うものとしします。
- ・また、定期的な見直し以外でも、著しい社会経済情勢や行財政事情等の変化が生じた場合には、随時、計画を見直すものとしします。